

## 第 28 回甲南英文学会定期総会・研究発表会のご案内

2012 年 6 月 1 日  
甲南英文学会会長 中島俊郎  
メール：els@konan-u.ac.jp  
ウェブ：http://www.konan-u.ac.jp/~els

甲南英文学会会員各位

本年度の総会、および研究発表会・講演会を以下の要領で開催いたします。ぜひともご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

### 記

日時：2012 年 6 月 30 日（土） 午後 13 時 00 分より  
場所：甲南大学 2 号館

### プログラム

13:00 – 13:50 総会 (2 号館 2 階 223 教室)  
議題 1 2011 年度決算報告  
2 2012 年度予算案  
3 規約改正について  
4 その他  
報告 1 編集委員会より  
2 その他

14:00 – 16:20 研究発表  
[英語学] 2 号館 2 階 223 教室  
・ 14:00 – 14:40

司会：福田稔（宮崎公立大学）

「S と Q の狭間で一分離疑問文の Conf' P 分析」

根之木朋貴（甲南大学非常勤講師）

・ 14:50 – 15:30

「語の語彙化と頻度に基づく一語化の違い」

高橋勝忠（京都女子大学）

・ 15:40 – 16:20

司会：岩田良治（天理大学）

「ME/a/の発達過程について」

平郡秀信（中京大学）

[英米文学・文化] 2号館2階224教室

・14:00-14:40

司会: 安武留美 (甲南大学)

『『生きる力』—ブロンソン・オールコットの教育観から—』

水本有紀 (甲南大学非常勤講師)

・14:50-15:30

司会: 中井誠一 (島根大学)

『破り捨てられた Mark Twain の恋文』

和栗了 (京都光華女子大学)

・15:40-16:20

司会: 大森義彦 (甲南大学)

『A Mercy—鏡に映る母の顔』

齋藤幸恵 (甲南大学大学院)

16:30-18:00 講演会 (2号館2階223教室)

司会: 秋元孝文 (甲南大学)

日本の災害記録—英語・英米文学との関わりを中心に

山本品 (慶應義塾大学名誉教授)

### 講演者自己紹介

1934 (昭和9)年1月末、東京生まれ。新暦では戌だが、旧暦では酉だから、「通りがかった犬」と自称。焼跡世代ゆえ貧しくて、ロイター通信社東京支局で夕勤・夜勤をしながら大学を出た。初めはOE・MEが専門で、修士論文は『『アポロニアス・オヴ・タイア』の統語法』。1963-99年、慶應義塾大学文学部教員。

まだ若い頃、大学紛争の時代に、厨川文夫先生のご諒解を得て、大橋吉之輔先生と共に三田にアメリカ文学専攻コースを創る。1970年から1年間、米国シカゴ大学、コロンビア大学の訪問研究員 (福澤諭吉記念学事振興基金による)。まだ1ドル360円の時代だった。両大橋 (健三郎、吉之輔) 先生などをお助けして、日本アメリカ文学会の草創期に雑巾掛けをした。1989年より4期8年、文部省 (当時) の教科用図書 (英語) 検定審議会委員を満期務める。論文、書評、書誌、翻訳、エッセイ、ラジオ放送、教科書など多数。『『ローマの休日』考』と題する最終講義は『英語青年』に連載された。

東京家政学院大学 (女子大) の人文学部に比較文化専攻を創るため再就職。その後、日本ソロー学会、慶應英文学会の会長を務める。今秋、ソロー学会会誌に「ソローから内村鑑三を介して咸錫憲への流れ—現代の非暴力抵抗運動との比較で考える」が掲載の予定。

趣味は郵趣、美術、焼物、盆栽、探鳥など。全日本切手展、国際切手展に10年連続して出品、受賞。『英語青年』の表紙に「切手で綴るアメリカ文学小史」が1年連載された。慶應愛書家倶楽部に所属。材木屋の俵でもないのに、キばかり多いと言われる。

18:10~20:00 懇親会 (生協2階レストラン)

出席・欠席の旨は、メール添付ファイルの返信、または郵送の場合は同封のハガキにて、必ずお知らせください。欠席される方は、委任状にも署名・捺印をお忘れなきよう、よろしく願いいたします (メールによる返信の場合は捺印は不要です)。

【役員会について】本年度の役員会は、10号館8階準備室(L-810)にて午前11時より開催予定です。役員の方は万障お繰り合わせのうえ、ご出席をよろしく願いいたします。